

書写授業への 関心・意欲を高める工夫

宮崎県宮崎市立宮崎東中学校教諭 村田公尚むらた ひとし

1 実践の趣旨

私は、生徒が関心・意欲をもって書写学習に楽しく取り組むためには、指導者である教師が教材研究を惜しまず、指導法の工夫を行うことが大切であると考えており、さまざまな試みを行っている。ここではそのいくつかを紹介したい。

2 指導の実際

① 課題となる文字の提示の仕方の工夫

課題となる文字を提示するときに教科書の手本を基にした工夫を行っている。
ア 半紙に対する文字の大きさや点画の配置を確認しやすくするため、縦と横に三本の線を書き入れ

② 自作ビデオを用いた指導

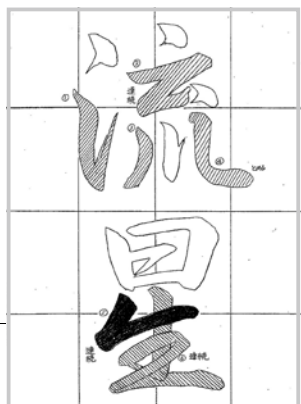
教師が書いている様子を事前にビデオカメラで撮影し、それを授業中に活用している。活用の仕方は次の通りである。
ア 授業のはじめに教室のテレビを使ってビデオを放映しながら、口頭で、筆順や筆使い、書くときのポイントなどを説明する。
イ 生徒が練習するときに、ビデオを繰り返し放映し、必要に応じてビデオを見るように指示する。



資料1



資料2



資料3

※イに関しては、ビデオの放映と並行して机間指導を行う。ビデオだけでなく、添削指導や筆を持つての直接指導を行うことで、チーム・ティーチングに似た形をとることが可能である。

③ 学習形態等の工夫

隣席やグループの生徒と相互評価及び相互指導をさせることにより、目標の明確化と意欲の向上を図っている。
ア 一枚練習するごとに、評価シートの項目に基づいて隣席の生徒と相互評価を行う。(資料4)
イ 毛筆書写の得意な生徒とそうでない生徒をバランスよくグループに配置して、得意な生徒が実技指導の支援を行うグループ学習の形も随時試みている。

3 成果と課題

課題となる文字の提示の仕方については、教科書の手本だけをよく見て書くように指示したときよりも、書き込みをした手本を与えたときの方が字形や配列が整った文字を書くことができていた。
ビデオの活用については、各自で練習する時間に筆を止めてビデオに目を向ける生徒が多く見られ、ビデオを見て部分的に練習を行う姿が見られた。

学習形態の工夫においては、少しでも良い評価を得ようと懸命に書く姿が見られたり、得意な生徒が苦手な生徒に書いて見せたりする姿も見られた。

デジタルカメラを活用しての鑑賞会は、自分の作品が映し出されることに照れや恥ずかしさを感じる生徒も多かったが、前向きなコメントを加えることにより、楽しみながら作品鑑賞を行っていた。

中国服の着用については、生徒にも好評であり、生徒の立場からいえば書写の時間としての気持ちの切り替えにも

効果があったようである。

このように、教師が時間や手間暇をかけて準備や指導法の工夫を行うことで、生徒は、確実に意欲的に書写学習に取り組むことが分かった。

しかしながら、このような手立てを講じるには、それなりの時間が必要となる。また、ビデオの作成については、毛筆書写の技能も必要となる。毛筆を得意としない教師は、他の教師や書道部の生徒、毛筆書写の得意な生徒の協力を得ることも必要となる。つまるところは、教師の書写授業にかける意欲がいちばん大切だと考える。

⑤ 教師の服装の工夫

書写の時間の雰囲気作りと、机間指導の際の汚れを気にしなくてもすむという利便性から、書写の時間は中国服(黒のカンフー服?のようなもの)を着用している。

※評価シート

◇評価シート(流麗) / 年 級 番 氏 名 ()

ワークシート 記 号	行書の特徴	基本形	チェック 1回目	チェック 2回目	チェック 3回目	チェック 4回目	教師評価
①	連続	リ	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
②	連続	ズ	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
③	方向や形	ノ	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
④	方向や形	し	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
⑤	連続	ム	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	
⑥	連続	土	A・B・C	A・B・C	A・B・C	A・B・C	

※チェック基準

◇連続(①②⑤⑥)について

A…連続した書き方をしており、手本とはほぼ同じような形(太さの強弱など)で書けている。
B…連続した書き方をしているが、縁が太すぎたり、途切れたりしている。
C…連続していない書き方になっている。

◇方向や形(③④)について

A…終筆を止める(収める)書き方がしており、手本とはほぼ同じような形で書けている。
B…終筆を止める形で書いているが、太い部分で終わっている。
C…終筆のように振ったり、はねたりしている。